

## プロジェクト ニュースレター Vol.1

50代前半と20代新入社員に聞いた「世代間比較調査」

新入社員と上手につきあうポイントは、50代との意外な共通点から  
**ゆとりと括らず、今の50代目線での会話・行動をセンタク！**

東和薬品株式会社は、**3月15日から「ワタシの、センタク。」プロジェクトを展開しています。**

今回はプロジェクトの一環として、**かつて新人類とも呼ばれた50代前半のビジネスパーソン(412人/以下、「Hanako世代」と定義)**と、今月より社会人となった**20代の「ゆとり」「さとり」とも呼ばれる新入社員(310人/以下、「Hanakoジュニア世代」と定義)**を対象に、ライフスタイル意識調査を行い、両者の意識を確認したところ、ギャップだけでなく、意外な共通点を抽出。まだまだ社会人のルールを覚える段階の新入社員との、より良い関係構築を目指すポイントを、消費者のライフスタイル・価値観に詳しい伊藤忠ファッションシステム株式会社 マーケティングクリエイティブディレクター 吉水由美子さんにご協力を頂き、下記の5つのポイントにまとめました。

ポイント①  
[価値観]

**Hanako世代とジュニア世代、価値観は似た者同士**

ポイント②  
[健康]

**ともに健康重視の現代人  
ジェネリック志向のHanako世代、節酒・非喫煙のジュニア世代**

ポイント③  
[仕事]

**ジュニア世代は仕事もプライベートも充実させたい  
ワークライフバランス主義**

ポイント④  
[コミュニケーション]

**ジュニア世代も「直接会って話す」ことが大事だが  
Hanako世代にもSNS活用を期待**

ポイント⑤  
[イメージ]

**自他共に認めるおとなしい新入社員だが  
「ゆとり」と括られると激昂**

●「ワタシの、センタク。」プロジェクトとは <http://towa-sentaku.jp>

生活、健康、キャリアなど、さまざまな人生の“センタク”を迫られる50代前半の方々を主な対象に、参考となる情報コンテンツ提供や、関連イベントの開催などの活動を通じて、彼らの“センタク”を応援します。

「ワタシの、センタク。」プロジェクトサイトでは、本プロジェクトのコンセプトに基づき、訪れる方それぞれにセンタクを楽しんで頂けるようなコンテンツで構成しております。

# 50代前半と20代新入社員に聞いた「世代間比較調査」について

ワタシの、  
センタク。

本調査結果をもとに、吉水さんの監修で「傾向と対策」を取りまとめました。また新入社員とのコミュニケーションに悩む50代に向けて、吉水さんに加え、20代の若者の心理に詳しい 株式会社ガルテン 代表取締役の村上萌さんに、「ジュニア世代である新入社員と上手に付き合うためのアドバイス」をお聞きするとともに、調査で得られた50代から新入社員たちへのエールを基に、「新入社員のみなさんに向けたアドバイス」も参考資料として掲載しました。

①価値観編 P.2

②健康編 P.3

③仕事編 P.4

④コミュニケーション編 P.5

⑤イメージ編 P.6

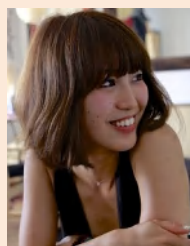
有識者アドバイス-1 P.7

有識者アドバイス-2 P.8



◆時代背景を踏まえた、調査結果の総括と、新入社員とうまく付き合うポイントについてコメント。

吉水 由美子(よしみず・ゆみこ)さん  
伊藤忠ファッションシステム株式会社  
マーケティングクリエイティブディレクター



◆50代の方々が新入社員(20代前半)とうまく付き合うためのアドバイスを、20代の視点からコメント。

村上 萌(むらかみ・もえ)さん  
株式会社ガルテン 代表取締役  
/ライフスタイルプロデューサー

参考資料:新入社員へのアドバイス編 ～50代上司との、素敵な関係作りのために～ P.9

## 調査概要

■実施時期 :2014年3月7日(金)～13日(木)

■調査方法 :インターネット調査

■調査対象 :50～53歳(Hanako世代)の社会人男女 412人

今年4月新入社員になった22～25歳(Hanakoジュニア世代)男女 310人

「Hanako世代」とは:マガジンハウス社発行の人気雑誌「Hanako」を片手にバブルを謳歌したことが名称の由来。

1959～64年生まれで、今年54歳～49歳の年齢を迎える皆さんを差します。20代の新入社員時代は、まさにバブル真っ盛り。「新世代の代表」として話題となった彼らも今や50代を迎えています。

平成25年賃金構造基本統計調査(全国)によると、**現場の部門長である「部長」の全国平均年齢は「52.3歳」。**

また、「出生順位別にみた父母の平均年齢の年次推移」によると、今年23歳を迎える**新入社員の生まれた時の、母親(平均で27.3歳=現50.3歳)、父親(平均で29.9歳=現52.3歳)の世代**にあたるなど、新入社員と深い関係にあります。

※資料出展はいずれも厚生労働省より

くすりのあしたを考える。



東和薬品

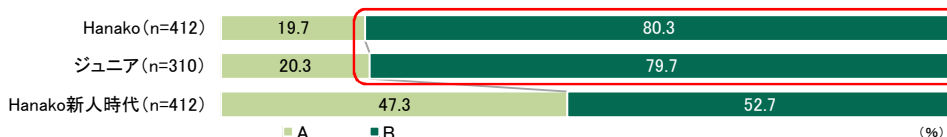
## Hanako世代とジュニア世代、価値観は似た者同士

50代前半のHanako世代、今年4月入社の子ジュニア世代である20代の新入社員、そして、Hanako世代の新入社員時代（Hanako新人時代）の各世代の考え方を聞き、比較してみました。すると、Hanako世代もジュニア世代も、自分の持ち物に関して約8割が「流行にとらわれず長く使えるものが欲しい」（Hanako世代80.3%、ジュニア79.7%）、車も「必要がなければ持たない」（Hanako世代83.5%、ジュニア70.6%）と答え[グラフ1-①②]、「将来のために今は我慢することが必要だ」（Hanako世代63.6%、ジュニア68.4%）、「消費や生活は身の丈に合っている方がよい」（Hanako世代67.5%、ジュニア59.4%）とランクアップよりも堅実な身の丈志向をセンタクしています[グラフ1-③④]。Hanako世代が新入社員だった頃の「流行を追い、今を楽しみ、ワンランクアップを求める」バブル志向とは真逆の価値観です。

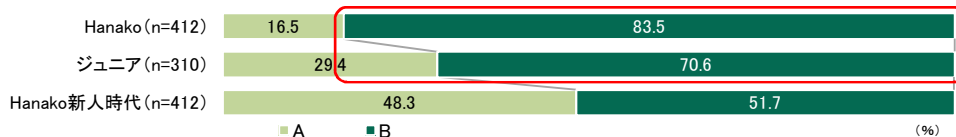
[グラフ1] AとB、どちらの考え方に近いですか？

[グラフ1-①] 自分の持ち物について…

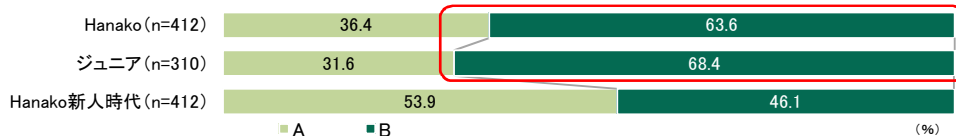
【A】洋服やバッグなどは、その時の流行に合ったものが欲しい 【B】洋服やバッグなどは、流行にとらわれず長く使えるものが欲しい



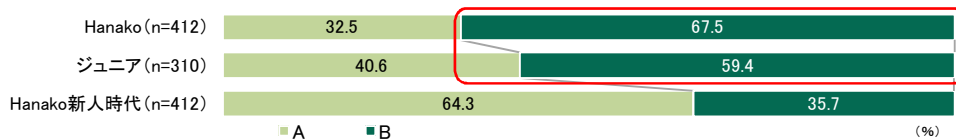
[グラフ1-②] 車について…【A】車は持っていることがあたりまえ 【B】車は特に必要がなければ持たない



[グラフ1-③] 現在と将来について…【A】将来より今が楽しいことが重要である 【B】将来のために、今は我慢することも必要だ



[グラフ1-④] 生活の質について…【A】消費や生活レベルはランクアップして行きたい 【B】消費や生活レベルは身の丈に合っている方がよい



### 50代の方々へ ～新入社員とうまく付き合うポイント～ 調査結果に対する吉水由美子さんのコメント

今年の新入社員は、実は今のあなたと同じような考え方の持ち主です。特に持ち物の選び方は似ているので、彼らの持ち物を会話の糸口としてセンタクすれば、意外な共通点が見つかり、話が弾むかもしれません。

やってはいけないのは、「自分の新入社員時代と彼らを比べる」こと。あの頃の自分と今の新入社員との共通項はほぼありません。彼らからすれば、縁のない昔話に聞こえるだけ。時代の違いを認識して、今のありのままの価値観で付き合った方がうまく行きそうです。



くすりのあしたを考える。

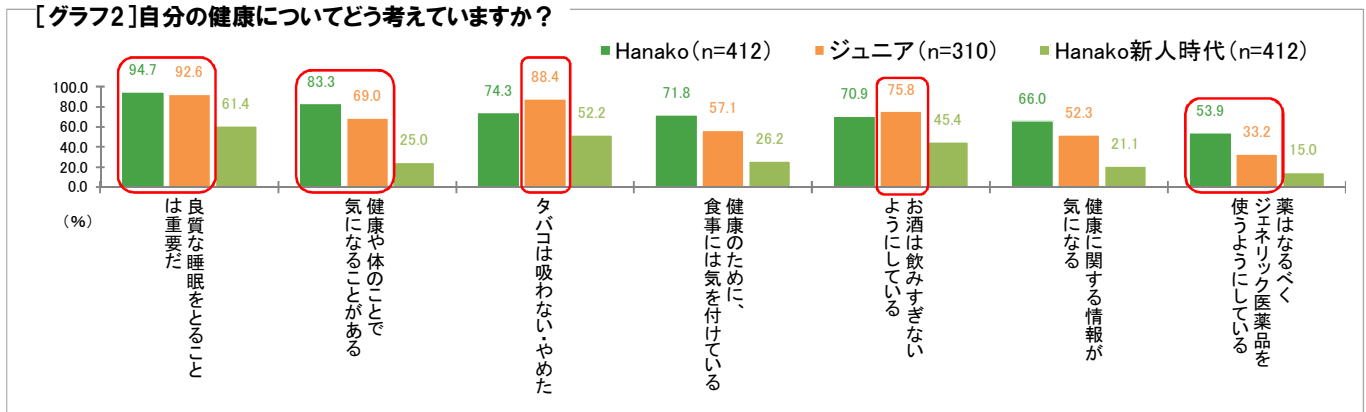
## ともに健康重視の現代人 ジェネリック志向のHanako世代、節酒・非喫煙のジュニア世代

Hanako世代もジュニア世代も「良質な睡眠をとることは重要」(Hanako世代94.7%、ジュニア92.6%)、「健康や体のことで気になることがある」(Hanako世代83.3%、ジュニア69.0%)と回答。Hanako世代は半数以上が「薬はなるべくジェネリック医薬品※を使う」(53.9%)と、新薬よりも低価格なジェネリック医薬品をセンタクし、新入社員も3人に1人(33.2%)がジェネリック派です。また、新入社員は約9割がタバコを吸っておらず(88.4%)、約8割が節酒(お酒は飲みすぎない75.8%)を心がけています[グラフ2]。食生活も同様に健康志向で、Hanako世代もジュニア世代も「なるべく野菜を取るように心がけ」(Hanako83.0%、ジュニア75.2%)、「なるべく手作りのものを食べたい」(Hanako73.5%、ジュニア74.5%)と望んでいます[グラフ3]。

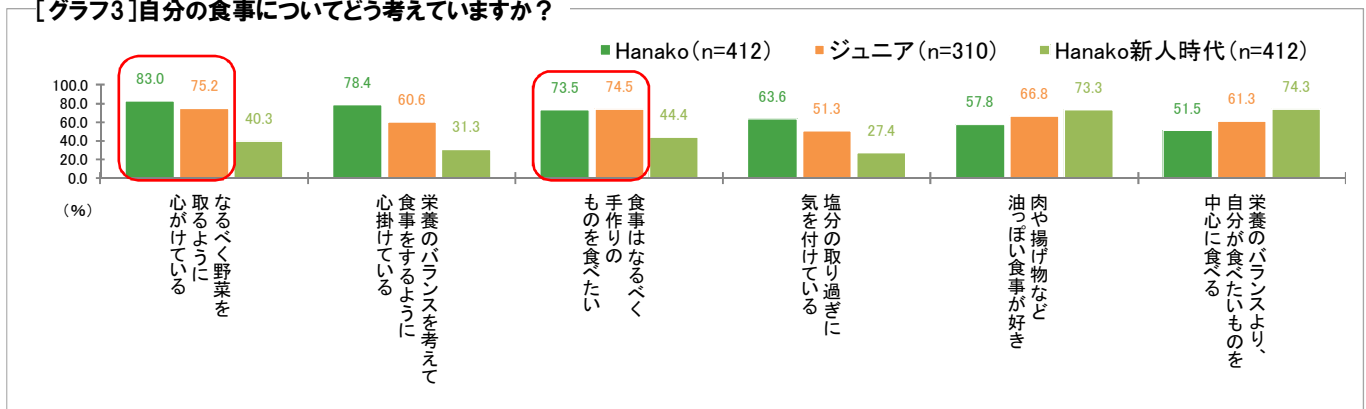
Hanako新人時代の健康や食意識と比べると、30年を経て、日本人の健康意識が全体的に高くなったことを感じます。

※ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、新薬(先発医薬品)の特許期間が過ぎた後に、他メーカーから製造・販売される、同じ有効成分で効き目が同等の医療用医薬品です。

[グラフ2]自分の健康についてどう考えていますか？



[グラフ3]自分の食事についてどう考えていますか？



### 50代の方々へ ～新入社員とうまく付き合うポイント～ 調査結果に対する吉水由美子さんのコメント

あなたの新人時代とは違って、今年の新入社員はとっても健康志向。よかれと思って高いお酒や贅沢な食事をふるまっても、彼らにとっては迷惑なだけかも。「若者＝焼肉、がっつり系」という考えはやめて、和食やオーガニックフードなどヘルシーなお店をセンタクすると、センスのいい上司をアピールできそうです。



くすりのあしたを考える。

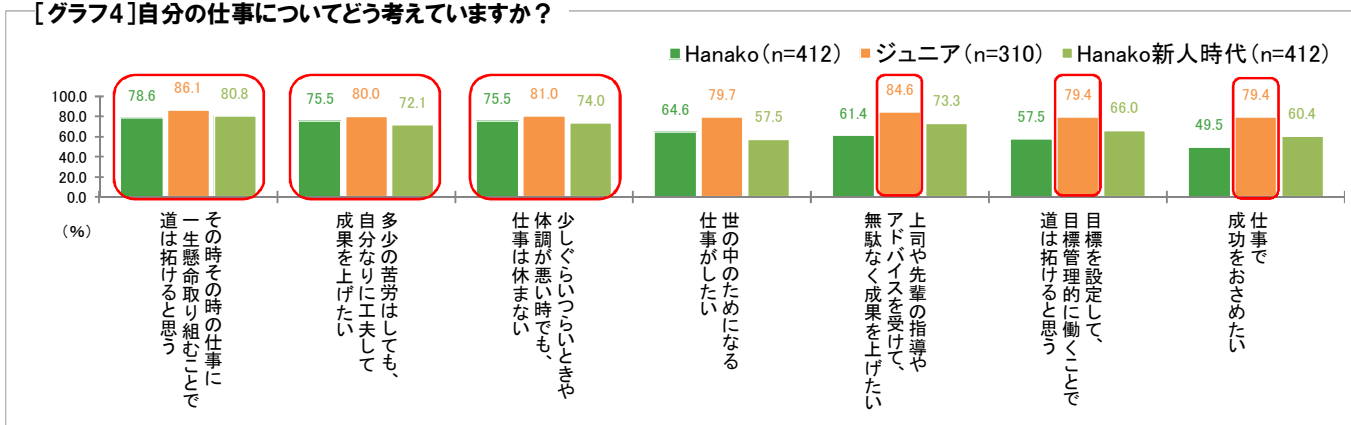
## ジュニア世代は、仕事もプライベートも充実させたい ワークライフバランス主義

仕事意識について尋ねると、24時間闘っていたバブル時代の新社員(Hanako新人時代)や、その後デフレニッポンを支えてきた今のHanako世代よりも、今年の新社員は仕事に対する意欲は熱い！という意外な結果となりました。

「その時その時の仕事に一生懸命取り組むことで道は拓ける」、「多少の苦勞はしても、自分なりに工夫して成果を上げたい」、「少しぐらいつらいときや体調が悪い時でも、仕事は休まない」は、両世代ともに意識が高めですが、「上司や先輩の指導やアドバイスを受けて、無駄なく成果を上げたい」(Hanako61.4%、ジュニア84.6%)、「目標を設定して、目標管理的に働くことで道は拓けると思う」(Hanako57.5%、ジュニア79.4%)、「仕事で成功をおさめたい」(Hanako49.5%、ジュニア79.4%)は新社員の方が20ポイント以上も高くなっています[グラフ4]。

また、新社員からHanako世代に言いたいことをフリーアンサーで聞くと、「会社以外の生きがいがあった方が仕事もうまくいくし、人生において有益であることを理解してほしい」と、仕事一辺倒ではなくプライベートの充実も認めて欲しいとの声が多く寄せられました。また、「叱られながらより、丁寧に教えて貰う方が仕事を覚えられます」という意見も寄せられました。

[グラフ4]自分の仕事についてどう考えていますか？



### ■新社員からの仕事上のお願い

- 何かに拘束されるのが好きな人は少ないと思う。会社の飲み会などの行事ごとであまり拘束するのはよくないと思う。また、仕事は仕事、プライベートはプライベートと割り切っている人が多いので、その辺りを考慮してほしい。
- 全ての人間が会社のために生きているのではないこと、会社以外の生きがいがあったほうが仕事もうまくいくし、その本人の人生において有益であることを理解して、プライベートな時間を許容してほしい。
- 叱られながらよりも、丁寧に仕事の手順、注意点を教えて貰う方が仕事を覚えられると思います。そのようなタイプが多いような気がします。

### 50代の方々へ ～新社員とうまく付き合うポイント～ 調査結果に対する吉水由美子さんのコメント

今年の新社員は、あなたが新社員の頃より、そして、今のあなたより、仕事に対して積極的で意欲的。さらには、仕事もプライベートもどちらも大事にしたいワークライフバランス主義を掲げる世代です。彼らのバランス感覚の良さを活かし、仕事に対する意欲を育むのが上司としての役割でしょう。きちんと目標を設定して、それを達成するための道筋をセンタクし、示してあげることで、予想を超えた即戦力が期待できるかもしれません。



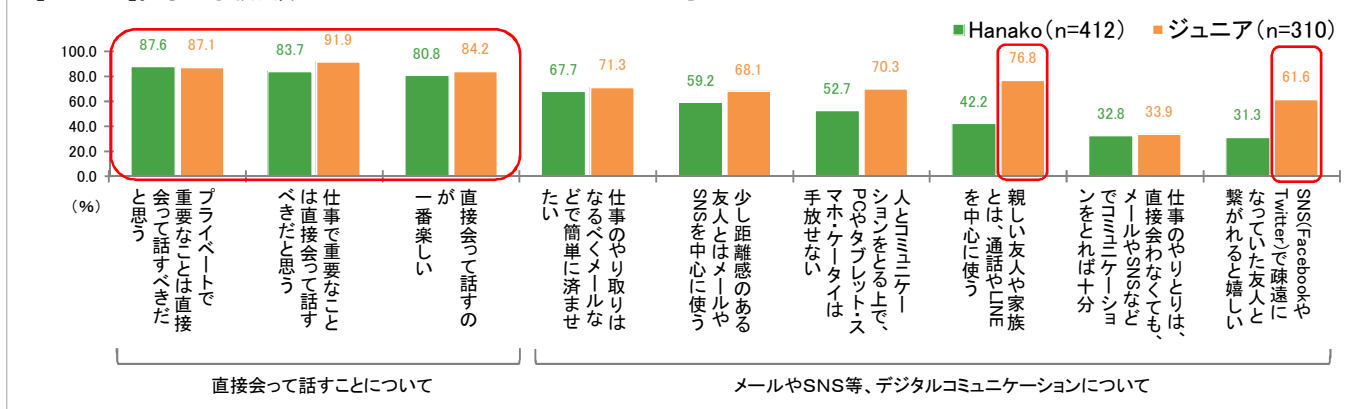
くすりのあしたを考える。

## ジュニア世代も「直接会って話す」ことが大事だが Hanako世代にもSNS活用を期待

仕事や家族・友人とのコミュニケーションについては、Hanako世代も新入社員も「プライベートで重要なことは直接会って話す」、「仕事で重要なことは直接会って話す」、「直接会って話すのが一番楽しい」と、直接会って話すことを重視しています。しかしその一方で、新入社員たちは「親しい友人や家族とは、通話やLINEを中心に使う」(76.8%)、「SNSで疎遠になっていた友人と繋がれると嬉しい」(61.6%)と、デジタルツールを使ったコミュニケーションも積極的に楽しんでいます[グラフ5]。人と人のコミュニケーションが大事という思いは共通ですが、その手法には世代間に違いがあるようです。

コミュニケーションに関して新入社員からHanako世代に言いたいことをフリーアンサーで聞くと、「ネットやスマホによるコミュニケーションが増えているので、機械に触れてほしい」などの声が多数寄せられました。生まれたときからパソコンやケータイがあるデジタルネイティブな彼らからすれば、スマホは分身でありライフラインのような存在。その利便さを理解しているからこそ、上の世代にも使ってもらいたいと思っているようです。

[グラフ5]仕事や家族、友だちとのコミュニケーションについてどう考えていますか？



### ■新入社員からの、コミュニケーション上のお願い

- 若い人と決めつけずに、気軽に話しかけてほしいし、気軽に話しかけられるようにになりたい。
- 自分の息子や娘と接するように、身近に感じられるようなコミュニケーションを取ってほしい。
- もっとケータイやタブレットを使いこなせるようになってもらって、情報を共有したい。
- Facebookを有効活用すれば、年の差関係なく繋がれます。
- 軽い連絡などはLINEで行った方が便利だと思うが、50代はLINEを使おうとせず、今までと同じメールで連絡をとろうとする。新しい技術・製品に対してもっと開放的になり、どんどん試していくべきだと思う。新しい技術・製品に対して距離をおきすぎているように感じる。

### 50代の方々へ ～新入社員とうまく付き合うポイント～ 調査結果に対する吉水由美子さんのコメント

直接会うことを重視するのはどちらの世代にも共通していますが、現代のコミュニケーション手段は大きく変化しています。Hanako世代の皆さんは、30年前の新入社員時代からファクス、ワープロ、パソコンと、次々に現れる新しいオフィス情報機器を使いこなしてきたのではないのでしょうか。職場に新しい文化を持ち込むのは、若い世代の役割です。メールが仕事の必須ツールとなったように、これからはスマホやSNSが新しいコミュニケーションの世界を開いてくれるかもしれません。新入社員にSNSの使い方や楽しさを教わるのが、彼らとのコミュニケーションの一助になることも。わからないことは素直に聞く、新入社員に教わるという柔軟なセンタクをすることもオトナの度量です。同じ事を何度も聞かないように、がんばってください。また、適切な距離を保つことも忘れずに！



くすりのあしたを考える。

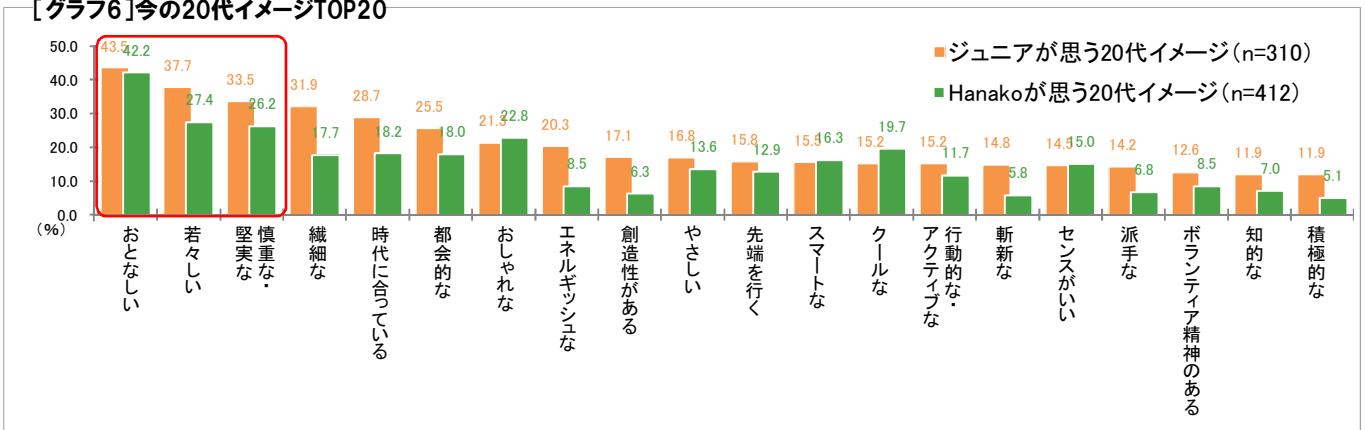
## 自他共に認めるおとなしい新入社員だが 「ゆとり」と括られると激昂！

20代のイメージを聞くとどちらの世代も、「おとなしい」(ジュニア43.5%、Hanako42.2%)、「若々しい」(ジュニア37.7%、Hanako27.4%)、「慎重・堅実」(ジュニア33.5%、Hanako26.2%)と、新入社員を同様のイメージで捉えています[グラフ6]。

また、新入社員からHanako世代に言いたいことをフリーアンサーで聞いてみると、「ゆとり世代と呼ばないで！」との意見が最多となり、ゆとり世代とひと括りにされ、言われ続けてきたことにかなりの嫌悪感をもっているようです。

Hanako世代と新入社員の長いつきあい。お互い最適のセンタクで、いい関係を築いていきたいものです。

[グラフ6]今の20代イメージTOP20



### ■その他、新入社員からのお願い

- ゆとり世代とレッテルを貼らずに接して欲しい。個人的には、そういった偏見を持たない50代の方と話をするのは本当に勉強になるし、好きです。
- ゆとり世代だからと否定するのではなく、きちんと話を聞く姿勢を持ってほしい。
- 「いまどきの若者は」とひとくりにせず、一人一人をしっかり見てほしい。
- 飲みニケーションはもう古い。飲みに行かず、仕事時間内でコミュニケーションがとれてこそ、真のコミュニケーションだと思う。
- 自分の時代の考え方を押しつけるのではなく、今の時代に合った柔軟な考えを持って接してほしい。時代は絶えず変わっていくのだから。

### 50代の方々へ ～新入社員とうまく付き合うポイント～ 調査結果に対する吉水由美子さんのコメント

「草食」を絵に描いたようにおとなしそうなイメージの今年の新入社員ですが、実は内に秘めたるパワーの持ち主。「ゆとり世代」と上から目線でひと括りにせず、彼らが言い出せない意見を上手く引き出すことをセンタクしてみても？ そんなあなたの気遣いに、彼らはきっと応えてくれるはずです。



## 「新人社員かくあるべし」と押し付けず、 価値観の違いを認め、「余裕ある大人の配慮」で接しよう

### ● Hanako世代は「新入社員の親」世代、かつてバブルの恩恵を受けた世代

今回の調査結果を見ると、Hanako世代と新入社員の価値観は驚くほど似ています。実はこの2者、ちょうど親子の年齢に当たるので、家庭内で相互の影響があるのかもしれませんが。“新人類”や“バブル世代”と呼ばれた両親は、社会人になりたての頃バブル経済の恩恵を受けたゆえ、「ワンランクアップ」や「トレンド」「ブランド」が大好きな、ミーハーイケイケ世代です。頑張れば給料は上がり、カッコイイ車に乗ればモテるといった、成功体験を持っています。が、30年の年月を経て年齢的に落ち着いたこともあります。給料がかつてのように上がらない中、子供の教育費や住宅ローンの負担は大きく、うわついてもいられないというのが実状です。またミーハーな分、東日本大震災以降顕著になった堅実志向や身の丈志向といった、時代の空気を読んでいるという側面もあります。

### ● 新入社員は、リスクヘッジ志向の強い世代

対して新入社員は、物心ついてからずっとバブル崩壊後の不景気で、親世代のような成功体験がありません。その分、堅実さや身の丈感が自然に身についています。またリスクヘッジ志向も強く、失敗して時間やお金を無駄に使うことを極力避けようとします。仕事では上司や先輩から指導やアドバイスを受けて、無駄なく正解にたどり着きたいという気持ちがみられますし、もし彼らに職場の飲み会の幹事を頼んだら、「食ベログ」評価ポイント3.5以上のお店を選ぶことでしょう。3.5以上ならハズレの確率が低く、仮にハズレても皆の投票結果を参考にしたのだから自分の責任ではなく、二重にリスクヘッジしているわけです。そのように堅実かつ慎重な姿勢が、上世代から見れば、「おとなしい」印象、自ら道を切り拓かないといった評価につながってしまっているように感じます。

### ● 2つの世代をつなぐのは、成功体験よりもサバイバル術

親子世代とはいえ、職場では距離感を感じてしまう、Hanako世代と新入社員。相互理解の第1歩は、お互いの育った時代背景の違いを認め合うことだと思います。成功体験のある世代ほど、過去の栄光を捨てられなかったり自慢したりしがち。Hanako世代は新入社員に過去の自慢話をしても、不景気を背景に育った彼らと成功体験は共有できず、ただウザいだけ、と認識しましょう。それよりも、生きにくい今のビジネス社会を生き抜く知識や知恵をシェアしてあげましょう。全面的なロールモデルにはなれなくても、部分的にお手本を示すことは可能かと思えます。新入社員はリスクヘッジ志向の強さゆえ、お手本や有効なアドバイスは求めています。そういった仕事での関係を軸に、ファッションや健康や食事やSNSなど、多方面の会話が弾むことを願います。



吉水 由美子(よしみず・ゆみこ)さん

伊藤忠ファッションシステム株式会社 マーケティングクリエイティブディレクター

大学卒業後、広告代理店のマーケティングセクションで、消費者調査、マーケティング戦略・ブランド戦略の開発などを担当。伊藤忠ファッションシステム(株)入社後は、マーケティングクリエイティブディレクターとして、「ファッション＝時代の価値観・人々の気分」という視点から、主に「ハナコジュニア」「ニュービッグファミリー」など、異業種マルチクライアントの共同調査 & 研究プロジェクト、消費者のライフスタイル・価値観を探索する調査、そこから発想したワークショップや商品開発を担当。著書に『「漂い系」の若者たち～インスピレーション消費をつかまえる！』など。



## 「ゆとりは違うから…」と決めつけず、まずは「認める」こと。 意外と熱く、真面目な20代のホンネを引き出すのは、50代次第！

### ● 求めているポイントが50代と異なる、「不安定な時代」を生きてきた20代

希望に満ちた世の中で社会の拡大に向けて生きてきた50代と、「不況」しか言わなくなった大人の中で育ってきた「さとり」である20代とは、世代背景が全く異なります。成功パターンを知らずに「正しい答え」が見えない時代の中で、20代が求めるものは「自分専用の答え」です。「みんなが知っているブランド物よりも、自分がストーリーを知っている物を持っていたい」、「50円アップしてでもカスタマイズできるスタバを選ぶ」、「多機能携帯より、自分で選んだアプリが入るシンプルなiPhoneを持っていたい」などは全て、20代が求めた“自分専用の答え”の結果です。バブルを経て大人になり物欲が弱くなった50代とは違い、彼らは「欲がない」のではなく、元々「求めているポイント」が違うのです。20代は“自分専用”欲が強いいため、他人が見れば気が付かないような子細なことでも、自分が関与したことで“カスタマイズ化”し“オンリーワン”になることを好みます。

### ● ビジネスマナーと「相手に合った提案」を試みることでコミュニケーションを図る

彼らが求めているのは「カスタマイズ化」した対応ですが、別に、非常識な行動を許すとか、20代に媚びを売る、という意味ではなく、彼らのことを理解しようとした上での“提案”が有効です。20代は「上司と飲みに行きたくない」のではなく、「部下は飲みについてくるのが当然だ」と、頭ごなしに言われることに、違和感が生まれます。「君は何が好き」「それなら今度こんな店に行かないか」「こんな店に行こうと思うがどうかな」など、彼らの「答え」に興味があることを示してあげてください。そこで生まれる会話や質問、アドバイスや誘いは、彼らにとって「自分専用のもの」なので、彼らの「本音」が聴こえてくるはずで、20代は“押しつけ”でなく、彼らに理解を示したうえでの“アドバイス”であれば、結構喜んで聴く耳を持ちます。調査結果で、共通した「興味のある話題」が多かったことは、良い傾向だと思います。

### ● 「自分とは異なる価値観を持つ」存在として、20代を否定せずに受け入れること

コミュニケーションの成立には、「価値観の違いを受け入れる」あるいは「価値観が合う」のどちらかしかありません。20代と50代は、意外と共通点もありますが、根本的には「価値観が違う」ため、「価値観の違いを受け入れる」ということを前提に進めるしか方法がありません。「ゆとりだからしょうがない」「自分たちと全然違うから、何を考えているのかわからない」と投げ出し、「自分の答え」を押し付け、無理に自分の考える枠にはめこんでしまうと、20代とのコミュニケーションは成り立ちません。20代は、自分の意見を言う事に対しては、ハードルが低い世代です。昔のように大きな声を出して衆目を集める必要も、ビラを印刷することもなく、匿名で自分の意見をネットに書き、自分と同じ考えを持つ人たちから賛同を得ることで自分の居場所を確保しています。そんな彼らは「本音」が言えない場に対して息苦しさを感ずります。彼らの本音を聞かずに「頑張れば頑張るほど未来は明るい」という言葉を投げかけても、彼らにとっては「綺麗事」に聞こえるだけで、非常に居心地の悪い場所となります。彼らとは根本的に価値観が違うという前提を理解した上で、「本音」や「自分の意見」を語らせる場を作ることで、彼らはモチベーションを維持することができるのです。

言葉使いや礼儀、ビジネスマナーなどは、構わず教える気持ちで叱ってください。ただ、「個性」に関わることは、「違い」を認めて欲しいのです。もしかしたら、異文化の方と接するような気持ちの方が、上手く行くかもしれません。50代の皆さんにとっても、「本音を聞きだす」というコミュニケーションを楽しむなら、有意義な時間を過ごせると思います。「やっぱりめんどくさい」と言わず、大らかな気持ちで面倒を見てあげてください。クールに見えても、意外と仕事に真面目で、どうしたらいいか迷っている姿が見えると思います。まだまだ年若で経験のない後輩たちに、沢山のことを教えてあげてください。



村上 萌(むらかみ・もえ)さん

株式会社ガルテン 代表取締役 / ライフスタイルプロデューサー

2007年大学在学中ミス成蹊大学のグランプリを獲得後、テレビレポーター、ラジオのメインパーソナリティーを務める。

卒業後ガルテンを設立し、ライフスタイルプロデューサーとしてウェブマガジンNEXTWEEKENDを主宰。

マガジンハウスより著書「カスタマイズ・エブリデー・コーヒーは、ダブルトールノンファットエキストラホットラテ」発売中。

# 参考資料:新入社員へのアドバイス編

## ～50代上司との、素敵な関係作りのために～

ワタシの、  
センタク。

### 若者がお小言を言われるのは世の習いであり、期待の証！ スマホばかりではなく、目の前にいる人生の先輩に教えを請おう！

Hanako世代から新入社員に提案したいこと、新入社員にびっくりしたことをフリーアンサーで聞くと、「挨拶」や「礼儀」がなっていないといった定番のお小言もありますが、がんばれ！のエールが数多く寄せられました。

若者がお小言を言われるのは世の習い。それだけ君たちのことを期待している証とも言えます。スマホばかりに頼るのではなく、目の前にいる人生の先輩に直接教えを請う、というセンタクも大事です。

#### ■ Hanako世代から新入社員への提案

- 社会人になって教わることはよい経験になるので、失敗をおそれずに何にでもチャレンジして度胸と実績を積んでほしい。
- やりたい事があるなら、熟考以上に実行が大事。まず動いて、壁にぶつかったら別のルートを探る時間はあるし、その経験が次につながるはず。
- ゆとり世代だからと言われて悔しいことでしょう。我々の新入社員の頃より将来への夢が持てず就職に関しても苦労が多い中、真っ当で堅実でしっかりしていると思っています。萎縮しないで頑張ってください。
- 希望のない時代、でも未来を悲観せず希望を捨てず頑張る。いつの時代も、今の若者は…という批判はつきもの。気にしないで進んで欲しい。
- 情報が溢れている中で何が正しいかを見極める力をつけることが大事。タブだけでなく、自分の目で耳で足で情報を集め把握する努力も必要。
- 一度や二度失敗しただけですぐあきらめて自分の殻にこもるのはやめたほうがいい。大概の人は失敗や挫折を経験しているし、それもまた、自分の糧になるので恥じなくていい。もう少しだけうたれ強くなって下さい。
- 若いうちは多少の困難は買ってでもするつもりで。自分だけラクをしようと思わずに、汗をかく中で進むべき道を見つけて欲しい。

#### ■ Hanako世代が新入社員にびっくりしたこと

- 側にいたのに仕事の質問をラインで聞いてきたこと。みんなで話している最中にスマホでゲームを始めること。
- メモを取る習慣がなく、すべて携帯やスマホで済ますこと。漢字を知らなさ過ぎる。
- 挨拶が出来ない。営業にいながら、「お父さん お母さん」と自分の身内のことを呼称する。敬語が全く使えない。
- ビールを飲まない。飲み会で、カンスオレンジなどはじめから好きなものを注文する。飲み会参加で残業を申請されたこと。
- おしゃれである。プライベートと仕事を上手に区別している。



### 新入社員の方々へ ～Hanako世代とうまく付き合うポイント～ 調査結果に対する吉水由美子さんコメント

価値観	今の50代前半はバブル経済を背景とした華やかな新人時代を過ごしており、新入社員の皆さんからすれば、「自分たちとは価値観が違う」と感じるかもしれません。しかし、調査結果を見ると、現在では「堅実なライフスタイル」を志向しており、特にモノ選びでは、皆さんとよく似た価値観を持っているので、共通の話題になるかと思えます。
健康編	喫煙イメージが強い50代ですが、調査結果を見ると7割強が禁煙しており、喫煙者もできれば禁煙したいと思っているようです。常に肩身の狭い思いをしている50代の喫煙者。煙たがる前に、禁煙を応援してみてもいいでしょうか。上司の禁煙率が上がれば、皆さんのオフィスライフがより過ごしやすくなると思います。
仕事編	皆さんは、仕事への意欲と同時に、プライベートも充実させたいと考えていることがわかります。しかし、上司にあたる50代前半には、皆さんの仕事に対するやる気がうまく伝わっておらず、大事な仕事を任せてよいのか不安に思う場面もあるようです。仕事への意欲はもっとアピールする方がよいでしょう。
コミュニケーション	パソコンやインターネットがあるのが当たり前で育ったデジタルネイティブな皆さんからすれば、電話やメールよりも、SNSを使った方が便利なのだと思うシーンが度々あると思います。その時は、SNSの利便性を上司世代にもわかりやすく伝え、ITリテラシーの高くない人でも、うまく利用できるよう一緒に考えてみるのが良いと思います。
イメージ	皆さんが自分たちのことを「おとなしい」と感じるように、50代前半もあなたたちのことを「おとなしい」と捉えています。皆さんが実は「エネルギーギッシュ」で「創造的」なことは残念ながら伝わっていません。「ゆとり世代と括らないで欲しいこと」や、「実はすごく仕事に前向きなこと」をわかってもらうためにも、積極的に言葉や態度で伝えることが大事です。

くすりのあしたを考える。